

令和7年度春期 災害対策専門研修 カリキュラム（案） マネジメントコース：ベーシック

主担当：主任研究員 池端 祐一朗

時間\日付		6月4日(水)	6月5日(木)	6月6日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	(9:30～10:30 センター展示見学:希望者のみ) 10:00～10:30 受付 10:40～11:00 開講式	地震・津波への備えと対応 清野 純史 人と防災未来センター客員研究員 (京都大学名誉教授) ・地震・津波の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解する。	風水害への備えと対応 天野 智裕 神戸地方気象台 防災気象官 ・風水害の発生過程とその被害を理解し、自治体の具体的対応(警報・避難等)を学ぶ。
11時00分～12時15分	2限	11:00～11:30 講話 河田 恵昭 人と防災未来センター長 11:30～12:15 オリエンテーション 池端 祐一朗 人と防災未来センター 主任研究員	災害と男女共同参画 斉藤 容子 人と防災未来センター リサーチフェロー (関西国際大学客員教授) ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	災害史と社会 福和 伸夫 人と防災未来センター 客員研究員 (名古屋大学名誉教授 あいち・なごや強靱化共創センター長) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析を通して、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える。
		休 憩	休 憩	休 憩
13時15分～14時30分	3限	行政における災害対応業務の実践 後藤 武志 人と防災未来センター Disaster Manager (飯田市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 課長 (元飯田市危機管理部危機管理課 課長)) ・大規模災害における行政対応の経験や、地域に向けての防災・減災活動の経験について学び、災害対応業務の実践について学ぶ。	ゲーミング手法を活用した防災・減災 矢守 克也 人と防災未来センター 客員研究員 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を学ぶ。	危機管理法制 武田 文男 人と防災未来センター 上級研究員 (福島学院大学副学長・マネジメント学部長・教授) ・災害対策・国民保護・危機への対応に関する国・自治体の行政システムに係る法制を理解し、課題への取組みについて学ぶ
14時45分～16時00分	4限	災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 特別研究員 ・災害発生初期期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて学ぶ。		ふりかえりワーク 池端 祐一朗 人と防災未来センター 主任研究員 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ。
16時15分～17時30分	5限	災害対応+危機管理総論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究科教授 ・災害対応・危機管理の基本的な考え方について概要を学ぶ。	被災者対応総論 重川 希志依 常葉大学名誉教授 ・災害時に行政が対応すべき被災者支援業務の内容とその流れについて理解する。	16:05～16:25 レポートタイム 16:25～16:45 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。